



# しらら

平成3年  
2・3月号



おばあちゃん  
からの  
ひとこと

ちよっぴり淋しがりやですが、とてもやさしい子です。これからも友達と仲良く、素直に育ってほしいです。  
良子さん (61歳)

おばあちゃん  
との  
語り



下山夏美さん  
(相内小・6年)

## 今月の主記事

- 統一地方選挙スタート..... 2
- ハウスの有効利用で市浦農業..... 3  
に活性化
- 冬季スポーツ大会・平成2年..... 4  
市浦村スポーツ賞
- 新しくなった神明宮の鳥居..... 5  
葛西医師の診療録
- 安藤物語..... 6
- おしらせ..... 7
- 健康への道・戸籍の窓..... 8

## うちのおばあちゃん

うちのおばあちゃんはお、今六十一歳です。二十歳から先生をやり、五十八歳までの三十六年間がんばり続けて来ました。

おばあちゃんは、何事も最後までやりとおす人で、ちよっぴり物事をおわらしたことは、一度もありません。家の中では、歌をうたったり、おどろたり、おもちゃいことをしたり、とても二、三つはおばあちゃんです。でも、学校へ行くとおこる時はおどろ、ほめる時はほめ、みんなに好かれていた先生でした。児童が何か悪いことをしたらおどろながらもほめてやり、ただおどろくことばかりとは、せつたいにありませんでした。たぶんそらいうことが好かれたのだと思います。

私が小さい時は、お田さんガバレで夜まで練習して帰ってくるので、それまでおばあちゃんのおふとんの中でねむり、その時はながら昔話をしてくれました。

私は一人っ子で、遊ぶ相手がいなくて一人遊んでると、おばあちゃんはやることがあったのに、夏美ちゃん、いつしよに遊ぶうかいといて、いつしよに遊んでくれました。私はいつしよはおばあちゃんが好きです。私の大事なおばあちゃん長生きしてください。

統一地方選挙

青森県議会議員一般選挙

投票日 4月7日(日) 告示日 3月29日(金)

市浦村長選挙  
市浦村議会議員補欠選挙

投票日 4月21日(日) 告示日 4月16日(火)

投票時間 午前7時～午後6時

投票できる人

○青森県議会議員一般選挙  
(年齢要件)  
昭和四十六年四月八日以前に生まれた人。  
(住所要件)  
平成二年十二月二十八日以前に転入の届出をした人。

○市浦村長選挙・市浦村議会議員補欠選挙  
(年齢要件)  
昭和四十六年四月二十二日以前に生まれた人。  
(住所要件)

平成三年一月十五日以前に転入の届出をした人。

不在者投票

投票区の区域外で仕事に従事など理由で、選挙当日投票所へ行けない事情のある人は、不在者投票ができます。

期間

(青森県議会議員一般選挙)  
三月二十九日・四月六日  
(市浦村長選挙・市浦村議会議員補欠選挙)  
四月十六日・四月二十日

▼時間 午前八時三十分～午後五時

▼場所 青森あすなろホール

(しゅら)会議室

投票所

| 投票所   | 場 所      | 備 考   |
|-------|----------|-------|
| 第一投票所 | 基幹集落センター | 相内・桂川 |
| 第二投票所 | 太田小学校    | 太田    |
| 第三投票所 | 脇元小学校    | 脇元・磯松 |
| 第四投票所 | 十三小学校    | 十三    |

投票用紙

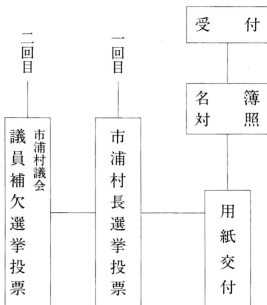
市浦村長選挙及び市浦村議会議員補欠選挙の投票用紙は、それぞれ色分けされていますので、間違わないようにしてください。

○市浦村長選挙：白色に黒刷り(片面刷り)

○市浦村議会議員補欠選挙：黄色に黒刷り(片面刷り)

投票の順序

◇市浦村長選挙及び市浦村議会議員補欠選挙の投票は次の順序で行います。



ルールを守って  
明るい選挙

選挙の問い合わせは

選挙管理委員会事務局へ  
お問い合わせください。

☎62-2111

土・日曜日でも事務を行っています。

## トマトの販売状況

|       | 作付家<br>(戸) | 作面積<br>(a) | 販売額<br>(千円) | 出荷量<br>(ケース) | 10a 当り        |             |
|-------|------------|------------|-------------|--------------|---------------|-------------|
|       |            |            |             |              | 単価<br>(円/ケース) | 出荷量<br>(kg) |
| 昭和62年 | 6          | 14         | -           | -            | -             | -           |
| 昭和63年 | 15         | 63         | 9,929       | 11,302       | 878           | 7,176       |
| 平成元年  | 22         | 135        | 18,717      | 19,645       | 953           | 1,386       |
| 平成2年  | 28         | 245        | 58,378      | 50,503       | 1,156         | 2,383       |

ハウスの有効利用で  
市浦農業に活性化を

トマト収穫のあと作付される「ときめきボエム」

好評「ときめきボエム」  
本格的に栽培へ

村では、昭和六十一年度から県の補助事業や村の単独補助事業によりパイオハウスを導入し、夏秋トマトのハウス栽培を行い、作付面積の拡大を図るなど、産地化を目指し取り組んできました。

トマト作付四年目の平成二年には、作付面積二百四十五

戸の農家が作付し、販売額約五千八百万円は、西北五地域で第一位の販売額になっています。

これは、野菜集出荷施設で厳選な出荷をしたため、主に東京市場に出荷され「市浦のトマト」として好評を得ています。

います。

今後は、栽培農家を増やしなから、作付面積五〇、販売額一億円を目標に取り組んでいくことにしています。

また、トマト収穫後の遊休ハウスを有効利用するため、新野菜「オータムボエム」を県内で初めて導入し、平成元年度から試作、今年から本格的に栽培され、市浦農協では「ときめきボエム」のブランド名を付け、生産、販売に取り組んでいます。

ときめきボエムは、アブラナ科の緑色野菜で、茎、葉、花を食べることができ、味にくせがなく甘みがあり、栄養豊富でアスパラガスに似た風味を持ち、おひたし、サラダ、いため物など、幅広く調理できることから評判も上々。

現在、作付面積は三十五ア、で、九戸の農家が作付し、栽培は九月の種まき、十月の定植で、主茎の収穫後も副枝や側茎が次々と伸び、十一月から三月までの長期間収穫できるのが特徴。

さらに、寒さに強く、手間も少なく、無農薬栽培も可能で、生産者にも好評を得ており、時代にあっただけのヘルシー野菜として人気を集めようとしています。

ぼくたちもうすぐ一年生  
—全村で33人が入学—

相内小での一日体験入学

入学シーズンを迎え、このほど相内小学校で一日体験入学が行われました。

参加した新入学児童らは、ちよびり緊張しながらも、すぐ学校の雰囲気慣れ、先生の呼びかけに元気に返事をしていました。

今年の新入学児童は次のとおりです。

- △相内小学校(十五人)
  - 一戸知行(俊一)、秋田谷桂博(忠雄)、吉田典史(誠)、三浦松雄(満治)、三浦竹史(満治)、三上大輔(慶)、鳴海わか奈(務)、岡本亜由美(隆雄)、秋田谷由美(長一郎)、三浦尚美(恭武)、鎌田祥佳(和廣)、
- 竹谷雅代(裕治)、三和朋代(孝幸)、佐藤夕希(秀昭)、秋田谷理恵(悟)
- △太田小学校(三人)
  - 奈良和久(新一)、丸山飛香(正一)、武田真裕美(精二)
- △龍元小学校(五人)
  - 石岡慧也(芳孝)、松橋征高(茂)、或田圭介(實)、田中葉弥(繁)、宮本円(兼政)
- △三三小学校(十人)
  - 亀田春樹(文雄)、奈良一樹(広樹)、白川幸輝(幸徳)、濱田祐輔(正光)、二相取知希(義雄)、梶浦裕季(昭一)、梶浦瑞穂(昭一)、秋田亜里美(和人)、小山内理恵(利昭)、相坂幸世(睦夫)

# 村民体育大会

## 第20回冬季スポーツ大会

### 相内第3が総合優勝



開 会 式



バレーボール

「スポーツを通して村民相互の親睦と健康増進をはかる」をスローガンに掲げた村民体育大会第二十回冬季スポーツ大会は、三月三日村コミニティセンター（卓球、B&G体育館、市浦中学校体育館（バレーボール）、相内小学校体育館（バドミントン）を会場に開かれ、相内第三チームが総合優勝に輝きました。

この日は、村内から十チーム二百五十人の選手が参加し、どこの会場も熱戦が展開され、大きな声援と拍手に沸いていました。

種目別競技結果は次のとおりです。

▼バレーボールの部  
優勝 相内第三チーム。準優勝 太田チーム。

▼バドミントンの部  
優勝 相内第三チーム。準優勝 十三第一チーム。第三位 十三第二チーム。

▼卓球の部  
優勝 相内第一チーム。準優勝 相内第四チーム。第三位 相内第二チーム。

▼総合の部 優勝 相内第三チーム。準優勝 相内第四チーム。十三第一チーム。第四位 相内第一チーム。第五位 太田チーム。第六位 十三第二チーム。

市浦村教育委員会（本村義光教育長）では、三月三日村コミニティセンターで、平成二年の「市浦村スポーツ賞授与式」を行い、スポーツで優れた実績を残した三人の功績を讃えました。

この賞は、本村の体育、スポーツ振興に特に優れた実績を残した個人と団体を讃えようとして、昭和五十四年に制定したものです。

平成二年スポーツ賞の受賞者は次のとおりです。

### 平成二年 市浦村 スポーツ賞

第十一回運輸大臣杯争奪B & Gスポーツ大会全国大会やノー競技小学生男子の部で優勝など、各種大会に活躍した。



白川 友和さん  
白三小学校 6年

東奥義塾高等学校レスリング部員として平成二年度県下高校レスリング秋季選手権大会に出場し、一年生の部五十六歳で優勝した。



笹山 恵一さん  
東奥義塾高等学校 1年

五所川原工業高等学校ウエイトリフティング部に三年間所属し、第三年度においては主将として県高校総体で団体戦二連覇に貢献した。



下澤 昭治さん  
五所川原工業高等学校 3年

第87回全国商工会珠算検定は、二月十六日午後一時から各小学校で開催されましたが、藤元小学校六年の笹山悦子さんら四人がみごと一級に合格しました。

今回の受験者数は、四十七名でしたが、合格者は次のとおりです。

▽一級 笹山悦子、三和千晴、秋田谷こず恵、武田一哉（辻分球算塾）

▽二級 大川静果、木津谷西、秋田谷さゆり（辻分球算塾、滝浦麻理子（浦田塾）

▽四級 川内美晴、安保多



三和 千晴さん  
市浦中学校 1年



笹山 悦子さん  
藤元小学校 6年

### 笹山さんら四人が一級合格 商工会珠算検定試験



武田 一哉くん  
相内小学校 4年



秋田谷 こず恵さん  
市浦中学校 1年

枝子（辻分球算塾、亀田幸季、櫻浦美彩子、村上すえ（浦田塾）

▽五級 相坂友人、秋田圭美、相川浩考（浦田塾）

▽六級 柳引美穂（辻分球算塾）

▽七級 岩間智美（辻分球算塾）、工藤敏幸、中井裕子、古川千尋、内藤隆（浦田塾）

▽八級 奈良あずさ（辻分球算塾）、安田奈央、中島扶紀子、松橋弘祐（浦田塾）

▽九級 白川千草（辻分球算塾）、越野好晴、浜田美絵子（浦田塾）

## コミュニティ助成事業で 明るいまちづくり

市浦村では、平成2年度において県のコミュニティ助成事業で、次の3つの事業を実施しました。コミュニティ助成事業の資金には、宝くじの収益金が利用されています。



太田く相内間防犯灯三十九基  
事業費 百二十万二千円  
うち助成金 百一十万円



吉野スキー場ロープトウ  
事業費 三百九万円  
うち助成金 百九十万円



十六ミリ映写機一式ほか  
事業費 百六十七万円  
うち助成金 百六十万円



## 新しく鳥居を建立

ヒバを使った神明造り

神明宮

新しく建て替えられた鳥居

相内の神明宮境内には、於瀬洞遺跡公園が整備されており、県内外から観光客が訪れていますが、このほど神明宮の鳥居が新しく建て替えられました。

以前の鳥居は、昭和四十二年に建てられたもので、長い歳月になつて風雪にさらされて腐食が激しく老朽化したため、二十四年ぶりに建て替えられました。

この鳥居は、ヒバを使用した神明造りの立派なもので、建て替えにあつた氏子らの手によつて丹精込めてつくられたしめ縄が奉納され、完成を祝いました。

## 葛西医師の 診療録⑤

これまでのいろいろ検査に關して述べてきましたが、話がやや堅苦しくなつたきらいがあるので、ちよつと趣向を変えて診療に關する一般的なことを述べてみます。

今回は「風邪」について一言述べてみます。

「どうしたのか？」「風邪」——あは何とも言わない。本来は症状から言つてもらわないといけないのですが、風邪とはいへ症状は千差万別で、下痢をしたり、吐いたりするものもある。しかも薬は、咳の薬、熱の薬など、それぞれ症状に対してできているものなので、症状がわからないと薬は出せないのです。

昔から「熱つて座ればびたりと当たる」といったと歸米たいな医者や、名医といった風潮があるようですが、現在では問診といつて、患者の口からなるべく多くの情報を聞き出すことが、医者にとつて一番大事なこととなつてゐる訳です。

さて、先ほどの続きですが、「いつ頃からどうなりましたか？」

か？」「二、三日前から熱があつて頭が痛いんですが……」ここでそのあと、薬の質問をして、診察の他に三の質を訊ですが、この時点で実はまだ診断がついてゐる訳ではなく、二、三日薬を出して良くなつて初めて「ああやっぱり風邪だったんだな」ということになる訳です。

この人が、このあと熱が下がらず、頭もどんどん痛くなり、最後はけいれんを起こして、実は脳炎だつたというところもある訳です。もちろんそんなことがないよう常に注意していかないといけないのですが、可能性としては常にある訳です。

ですから、ここで私が言いたいことは、同じ病院には例え風邪であっても二回はかかるように——ということなんです。どんな病院であれ、先に出した薬によつて全く症状がよくならない、あるいは悪化したという場合、次なる手段を必ず用意してゐる訳です。

つまり、必要を検査をする、他に紹介する、薬を替えるなどですが、いずれにしても自分にとっては早期発見、早期治療のために望ましいのです。

市浦診療所長  
葛西智徳



情報をお寄せください

# おしらせ

役場の電話は62-2111



## 市浦村の人口と世帯数 平成3.3.1現在

| 大字名 | 前月人口  | 人口    | 世帯数   |
|-----|-------|-------|-------|
| 相内  | 1,365 | 1,368 | 413   |
| 桂川  | 84    | 83    | 23    |
| 太田  | 309   | 309   | 95    |
| 脇元  | 645   | 643   | 212   |
| 磯松  | 365   | 364   | 119   |
| 十三  | 873   | 874   | 264   |
| 計   | 3,641 | 3,641 | 1,126 |

### 国民年金の保険料が4月分から変わります

国民年金の保険料が、4月分から定額保険料1ヵ月9,000円に変わります。

平均寿命の伸びとともに増えている年金受給者や、物価スライドによる年金額の引き上げにより、年金の支払いに要する費用は、年々増加してきています。

だれもが長い老後を年金で幸せに送れるよう、保険料の引き上げについて、ご理解をお願いします。○納め忘れの保険料がないか、今一度確認してみてください。

国民年金の保険料は、未納のまま2年を過ぎると時効により納めることができなくなります。

国民年金保険料を完納し、満額の老齢基礎年金を確保して人生80年時代に備えるようにしましょう。

### 青森県青年の船

～参加者募集～

青森県では、このたび第4回青年の船事業を実施します。これに伴い市浦村からも2名を派遣することになりました。

参加希望の方は、市浦村教育委員会社教係へ申し込みください。

▷参加資格 平成3年4月1日現在、概ね20歳～30歳までの県内に在住し、日本国籍を有する者。

▷実施期間 平成3年9月8日～21日(14日間)

▷訪問国 中華人民共和国(大連・天津・北京)、大韓民国(釜山・慶州)

▷使用船舶 新きくら丸

▷参加団員 約400名

▷経費負担 一般団員は157,000円の負担になります。(その他事前・事後研修、制服等の費用は別途)

▷募集期間 平成3年4月1日～4月30日

※詳しいことは、市浦村教育委員会社教係へ 電話62-3751番

### 労働保険の申告納付はお済みですか

提出期限は5月15日

平成2年度確定・3年度概算保険料の申告の時期がきました。提出期限は、5月15日です。

早めにお近くの銀行または、郵便局等へ提出・納付してください。また、申告・納付が同時に出来ないときは、申告書を最寄りの労働基準監督署または、青森労働基準局・県雇用保険課へ提出し、納付についてご相談ください。

なお、五所川原市で申告書受け付けおよび作成指導を次の日程で行いますので、ご利用ください。  
▷日時 平成3年4月22日・午前10時～午後3時まで。

▷場所 五所川原公共職業安定所

### スパイクタイヤの使用禁止 平成3年4月1日から

◇「スパイクタイヤ粉じんの発生防止に関する法律」が平成2年6月27日に公布・施行されました。

スパイクタイヤ問題は、生活型公害の典型であることからこの法律では、国民の責務や地域指定などについて定めており、国民の努力と行政の施策により脱スパイクタイヤ社会を実現することを基本

的考えとしております。

◇スパイクタイヤは原則として使用禁止されます。スパイクタイヤ粉じんによる健康や生活環境への影響が特に懸念される地域が「指定地域」として指定され、この指定地域内の舗装道路の積雪凍結状態にない部分を走行するときは、スパイクタイヤの使用が平成3年4月1日から禁止されます。

違反者には、平成4年4月1日から10万円以下の罰金刑が科せられます。

▷スパイクタイヤの使用が禁止されない道路＝トンネル内の道路、橋の下の道路の部分等。

▷スパイクタイヤの使用が禁止されない自動車＝緊急自動車、災害時の緊急輸送車輛等。一定の身体障害者、戦傷病者の運転する自動車。

▷スパイクタイヤの使用の禁止が猶予される自動車＝車輻総重量3tを超える自動車。

※脱スパイクについてのお問い合わせご意見は、青森県環境保健部公害課 電話0177-1111番(内線3148)

### 交通災害共済に 家族そろって 加入しましょう

会費 1人年間350円

共済期間 平成3年4月1日から 平成4年3月31日まで (1年間)

加入の申し込みは 市町村役場の窓口へ

| 2月累計         |                  | 死者のうら     | シートベルト着用者  | 着用義務者     | 非着用者      | 着用者       |
|--------------|------------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 発生           | 死亡               |           |            |           |           |           |
| 560<br>(426) | 1,216<br>(987)   | 5<br>(10) | 11<br>(19) | 5<br>(10) | 5<br>(10) | 5<br>(10) |
| 692<br>(536) | 1,306<br>(1,285) | 1<br>(1)  | 1<br>(1)   | 1<br>(1)  | 1<br>(1)  | 1<br>(1)  |

(内)は前年。累計は1月から

シートベルト しめる心が 身を守る

### 目指せ/3,000円

交通死亡事故ゼロ

継続中

2,766円

3月20日現在

▽本庄 鮎様 十万円  
▽田中 和子様 五万円  
▽三和み子様 一万円  
▽相内 婦人会様 一万円  
▽中田 三和子様 二万円  
▽三和み子様 一万円  
▽田中 和子様 五万円  
▽本庄 鮎様 十万円

「福祉に役立ててほしい」と、次の方々に寄付をいただき、村では社会福祉協議会に寄託しました。

ありがとうございました。



年代別調査

| 区分    | 男   | 女  | 未記入 | 計   |
|-------|-----|----|-----|-----|
| 20歳未満 | 1   | 1  |     | 2   |
| 20歳代  | 20  | 2  |     | 22  |
| 30歳代  | 24  |    |     | 39  |
| 40歳代  | 33  | 6  |     | 33  |
| 50歳代  | 29  | 4  |     | 22  |
| 60歳代  | 18  | 4  |     | 11  |
| 不明    |     |    | 11  | 11  |
| 合 計   | 125 | 17 | 11  | 153 |

西北五は、日本一の出稼ぎ地です。また、就労地においては、出稼ぎにまつわる人身事故や成人病は、後をたない状況にあります。

当村でも、出稼ぎをやめてすぐ胃ガンの手術を受けたり、老いた両親の世話のため出稼ぎをやめ、経済的に困ったり、出稼ぎ先で脳卒中で死亡した事例なども、保健活動で遭遇

健康な老後をめざして  
— 出稼ぎ者の健康調査 —

しました。

そこで、出稼ぎ労働者の健康診断や生活習慣はどのようになっているのか、老後をどうとらえているかを知り、さらに、今後の中高年者の健康づくり対策の一助といたしく、本調査を実施しました。

◇方法及び対象

- 期間 平成二年四月～平成三年一月
- 対象 県外出稼ぎ労働者で雇用保険事務の手続きを完了している者
- 方法 自己記入方式アンケート調査

◇調査結果

①健康を受けた人は八十二%で、受けた場所は事業所が七十一%と多く、検査項目ではガン、結核検診が少ない。平均睡眠時間は七・七時間、平均労働時間は九・一時間、飲酒している人は七十一%、平均喫煙本数は一日二十一・六本、将来病気になると思える人は二十一%である。

②出稼ぎをやめた後、村に住みたいと思っている人は八十三%で、老後の不安があると答えた人は四十四%である。しかし、残された問題とし

老後の不安

| あ る    | な い    | 未 記 入 | 計      |
|--------|--------|-------|--------|
| 67人    | 85人    | 1人    | 153人   |
| 43.79% | 55.56% | 0.65% | 100.0% |

老後の不安があると答えた人の内訳(複数回答)

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 自分の健康           | 32人 |
| 生計の維持           | 30人 |
| 家族の健康           | 18人 |
| 自分が先立ったあとの家族の生活 | 12人 |
| 妻に先立たれること       | 7人  |
| 余暇の過ごし方         | 3人  |
| その他             | 1人  |
| 未 記 入           | 4人  |

健診の受診状況

| 受けている  | 受けていない | 未 記 入 | 合 計    |
|--------|--------|-------|--------|
| 126人   | 22人    | 5人    | 153人   |
| 82.35% | 14.38% | 3.27% | 100.0% |

受診場所及び検査項目

| 区 分 | 胃ガン | 子宮ガン | 結 核 | 血 圧 | 心電図 | 尿  | 血 液 | 未記入 |
|-----|-----|------|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| 村   | 5   | 3    | 9   | 18  | 12  | 16 | 12  | 9   |
| 事業所 |     |      | 32  | 66  | 50  | 68 | 62  | 26  |
| その他 | 1   |      |     |     | 1   | 1  | 1   |     |
| 計   | 6   | 3    | 41  | 84  | 63  | 85 | 75  | 35  |

竹谷 ひかる(脇元) 光昭

葛西 慎太郎(脇元) 龍治

高木 美穂(相内) 洗二

奈良 洋奈(太田) 悟

三浦 美沙冬(相内) 晃義

三和 一成(相内) 不二男

梶浦 陽平(十三) 安正

丸山 翔平(太田) 路起

小倉 幸乃(十三) 広正

工藤 駿太(脇元) 時雄

梶浦 大嗣(十三) 英俊

中井 成未(相内) 英彦

寺谷 成未(相内) 慎二

中井 和弘(十三) 明彦

飯塚 英明(茨城)

三和 和弘(十三) 明彦

木村 文彦(桂川) 川崎

榎方 孝子(岩崎)



お誕生

中井 勝之助(十三) 80歳

笹山 定一(脇元) 69歳

川口 きよ(相内) 74歳

奈良 長市(太田) 96歳

横山 金作(脇元) 80歳

青山 又二(十三) 78歳

青本 クニ(十三) 84歳

安保 利三郎(相内) 89歳

吉田 正義(相内) 61歳

おくやみ

中山 広之(脇元)

佐野 千恵(東京)

内山 伸二(愛知)

工藤 弘夫(十三)

工藤 三代子(木造)

梶浦 三子(十三)

飯塚 英明(茨城)

三和 和弘(十三) 明彦

木村 文彦(桂川) 川崎

榎方 孝子(岩崎)



ご結婚

まえば出稼ぎが成り立たないこと、通年出稼ぎが多いため、村の健康を守る機会に恵まれないこと。また、健康の事後指導が十分されていないこと、などである。

次は、老後についてですが、彼らが出稼ぎをやめた後も村に住みたいと考えており、老後の不安を自分や家族の健康、経済などに答えています。

まえば出稼ぎが成り立たないこと、通年出稼ぎが多いため、村の健康を守る機会に恵まれないこと。また、健康の事後指導が十分されていないこと、などである。

次は、老後についてですが、彼らが出稼ぎをやめた後も村に住みたいと考えており、老後の不安を自分や家族の健康、経済などに答えています。

また、自分が出稼ぎをやめた後も村に住みたいと考えているが、子供たちにも村に住んで欲しいと考えている人は二十三%で、多くの人は子供

に任せたい、住んで欲しくないと考えている傾向にあること、老後の不安をかり立てる一因ではないでしょうか。

当村は、県内でも高齢化の著しい村で、一人暮らし老人も多く、このような状況の中で、一人になっても心も身体もすこやかで、健康な老後が私たちの願いです。